

R 6 デジタルリスク推進業務企画コンペ実施要領等に関する質問への回答

No	資料名称	該当項目（該当頁）	質問内容	回答
1	企画コンペ実施要領	委託候補者の決定方法について(2)	企画提案選考委員会について、書面での説明でしょうか。それとも、モニターやプロジェクターを使用しての説明でしょうか。また、モニターやプロジェクターを使用しての説明の場合、機器は参加者で用意となるでしょうか。	<p>企画提案選考委員会の会場には、ネットワークに接続していない PC、HDMI 端子があるプロジェクター、HDMI ケーブル、スクリーンを用意しています。HDMI 端子のある PC を持ち込みいただいても構いませんし、USB メモリを持参し用意している PC に接続しても構いません。USB メモリを持参する場合の PC 動作については、県は責任を持ちません。</p> <p>また、同項ウにあるとおり、当日の追加提出は認めていませんのでご注意ください。</p>
2	業務仕様書	業務内容	業務内容に(2)がないのは何故ですか。	<p>落丁です。</p> <p>(1)、(2)、(3)…とすべきところ、(1)、(3)、(4)…となっています。今般の質問及びその回答の整合性維持のため、そのままの番号で取り扱いたします。</p>
3	業務仕様書	業務内容	D Xの構造として、デジタイゼーション・デジタルライゼーション・デジタルトランスフォーメーションと3つの段階があるが、本業務におけるD Xとはどこまでを指すか。	<p>受講者や事業所によって、デジタル化の段階は異なるものと認識しております。従いまして、本業務におけるD X推進はデジタイゼーション以上を達成すれば本業務の目的を達成したものと捉えます。それ以上を望む受講者や事業所がいらっしゃる可能性もありますので、カリ</p>

				キュラムとしては網羅したものを提供いただいても構いません。
4	業務仕様書	業務内容 (1) ウ (3) エ (P 2、P 3)	受講者の募集に関して、岩手県様としてDX推進計画等に関わる関連団体様や事業所様をご紹介いただく事は可能でしょうか。 ※例えば産業関連団体様や商工会加盟事業所様等	関連団体については紹介できますが、担当者については、こちらも把握しておりませんので、受託者で連絡をお取りいただくこととなります。 事業所は紹介できません。
5	業務仕様書	業務内容 (1) ウ (3) エ (P 2、P 3)	受講者募集については県内企業の育成という観点から、受託事業者のみならず県や関連団体の協力も想定した企画提案でも構いませんか。	構いません。ただし、提案いただいた内容の協力が得られるとは限りません。
6	業務仕様書	業務内容(1) 経営者層向けセミナーの開催 (P 1)	「経営者層」とは、社長（代表者）、取締役（専務、常務等）、執行役員という理解でよろしいでしょうか。また、経営者層以外から参加希望があった場合は、受講者として受付をしてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。経営者層以外から参加希望があった場合でも、ウの受講者の募集のとおり、受講者として受付を想定しています。

7	業務仕様書	業務内容(1) 経営者層向けセミナーの開催 (P1)	<p>県が予定している経営者向けセミナーとして①～④があり、①について提案することとあるが、①単体の内容で2時間程度のデジタルリテラシーセミナーを開催するものか。</p> <p>それとも①～④の内容で、2時間程度のデジタルリテラシーセミナーを開催する意味であるか。</p>	<p>お見込みのとおり①から④までの内容で2時間程度のデジタルリテラシーセミナーの開催を想定しています。契約後、具体の時間を調整しますが、①で30分程度、②～④で県が選定する講師・講演者により90分程度を想定しています。</p>
8	業務仕様書	業務内容(1) 経営者層向けセミナーの開催 (P1)	<p>仕様書P1～2「(1)経営者層向けセミナーの開催」ですが、セミナー内容の①については、講師・講演者の選定や謝金は業務委託に含まれるという認識で良いでしょうか？</p> <p>セミナー当日、①だけ弊社がアサインする講師が解説した後、②～④は県にてアサインする講師が担当するという認識で良いでしょうか。もしくは、県にてアサインする講師の方に、①についてもまとめてお話いただけるのでしょうか。</p>	<p>セミナー内容①について、講師・講演者の選定や謝金は業務委託に含まれます。</p> <p>セミナー当日は、①は受託者が、②～④は県が選定した講師が担当します。</p> <p>受託者には経営者層向けセミナーの開催に係る企画運営と受講者の募集を委託します。</p>
9	業務仕様書	業務内容(1) 生産性の向上を支援する諸制度の説明等 (P1)	<p>「① 生産性の向上を支援する諸制度の説明等」のイメージについては、生産性向上のため、各社で実施している制度があれば事例を共有するという事によろしいでしょうか。</p>	<p>国や国の委託を受けた運用機関等が実施する、人材開発支援助成金やIT導入補助金等の制度利用に係る活用方法を含めた説明を想定しております。</p>

10	業務仕様書	業務内容(1) 生産性の向上を支援する 諸制度の説明等 (P1)	「① 生産性の向上を支援する諸制度の説明等」については、「先端設備等導入制度」、「業務改善助成金」、「働き方改革推進支援助成金」、「建設DX推進事業費補助金」のように、国・県・市等で実施している制度、助成金、補助金等の概要を説明、紹介するものという理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。国や国の委託を受けた運用機関等が実施する、人材開発支援助成金やIT導入補助金等の制度利用に係る活用方法を含めた説明を想定しております。
11	業務仕様書	業務内容(1) 生産性の向上を支援する 諸制度の説明等 (P1)	生産性の向上を支援する諸制度の説明とは助成金やガイドラインの説明を指すか。	お見込みのとおりです。国や国の委託を受けた運用機関等が実施する、人材開発支援助成金やIT導入補助金等の制度利用に係る活用方法を含めた説明を想定しております。
12	業務仕様書	業務内容(3) リスクリングセミナーの開催 (P2)	リスクリングセミナーの開催方法について、参加者はすべてのセミナーに参加必須か。それとも任意のセミナーに参加することは可能か。	参加者(受講者)はすべてのセミナーに参加必須ではなく、任意のセミナーに参加することが可能と想定しています。
13	業務仕様書	業務内容(3) リスクリングセミナーの開催 (P2)	ワークショップやハンズオン型のトレーニングの提案は可能か。	お見込みのとおりです。スクール形式をはじめ、効果的と思われる様々な提案が可能です。

14	業務仕様書	業務内容(3)ア (P2)	<p>リスクリングセミナーの開催について、時間の確認です。</p> <p>5セミナー×2回 =10日かと思いますが、1日何時間という決まりはありますか。助成金の関係で5時間以上かとは思いますが、決まりがあれば教えてください。</p>	<p>1日のセミナー時間の制限はありませんが、効果的セミナーとなるよう調整し、受講者が参加しやすい時間の設定に努めてください。</p> <p>また、(厚生労働省の)人材開発支援助成金の活用の観点から、1セミナー(例えば、業務仕様書のセミナー①)あたり10時間以上の受講時間となるようにカリキュラムを想定しています。</p> <p>例えば、10時間のセミナーの場合、対面開催では5時間×2日間、オンライン開催では2時間×5日間など、10時間を確保してください。</p>
15	業務仕様書	業務内容(3)ア (P2)	<p>受講時間については、1セミナーあたり合計10時間以上となるように提案者側で自由に開催日数を提案してもよろしいでしょうか。</p> <p>例1) 1日目2時間、2日目2時間、3日目2時間、4日目3時間 =合計10時間</p> <p>例2) 1日目4時間、2日目4時間、3日目2時間 =合計10時間</p> <p>例3) 1日目5時間、2日目5時間 =合計10時間</p>	<p>お見込みのとおりです。例えば、10時間のセミナーの場合、対面開催では5時間×2日間、オンライン開催では2時間×5日間など、10時間を確保してください。</p>

16	業務仕様書	業務内容(3)ア (P2)	<p>これらの項目から5セミナーを2回開催のうえ、1セミナーあたり人材開発支援助成金の対象となる受講時間（OFF-JTを10時間以上）とする必要があると読取りました。</p> <p>10時間以上を満たすとなると分割開催が現実的となりますが、例として</p> <p>セミナー①-1（対面開催） 対面開催 5時間 × 2日（2回） 計10時間</p> <p>セミナー①-2（上記に準ずる内容をオンライン開催またはeラーニング提供） オンライン講座 5時間 × 2日（2回） 計10時間</p> <p>というパターンでセミナー①をオンラインと対面での開催を企画する場合 セミナー①は2回開催とカウントされますでしょうか。</p> <p>それとも、セミナー①は4回開催とカウントされますでしょうか。</p>	<p>1セミナーを10時間とした場合、ご提案のセミナー①-1（対面開催）で1セミナー、セミナー①-2（上記に準ずる内容をオンライン開催またはeラーニング提供）で1セミナーとカウントします。</p> <p>なお、オンライン開催での人材開発支援助成金の賃金助成について、eラーニング部分は対象外で、同時双方向型の通信訓練で対象となる場合があるなど条件がありますのでご留意願います。</p>
17	業務仕様書	業務内容(3)ア (P2)	<p>業務仕様書P2「(2) リスキリングセミナーの開催」ですが、「1セミナーあたり2回開催」かつ「受講時間10時間以上」かつ「最低10名以上」と記載がございますが、例えば、セミナー①ペーパーレス・デジタル化推進スキルコースを「前編（5時間） / 後</p>	<p>1セミナーの考え方ですが、1セミナーは10時間以上を想定しています。これを「前編（5時間） / 後編（5時間）」の連続講座としても、1セミナーの扱いと想定しています。このセミナーで前編10名受講、後編10名受講の場合、同セミナーの受講者は10名となります。</p>

			<p>編（5時間）」の連続講座とし、受講生を10名集めた場合は条件を満たしておりますでしょうか。</p> <p>もしくは、全く同じ内容のセミナー（10時間以上）を2回開催し、それぞれ最低でも10名以上（2回開催で最低でも20名以上）と捉えた方が良いでしょうか。</p>	<p>また、このようなカリキュラム設定において、前編には11名受講、後編には10名だった場合（後編に1名欠席）、最大値の11名受講とカウントとします。</p> <p>「全く同じ内容のセミナー（10時間以上）を2回開催し、それぞれ最低でも10名以上（2回開催で最低でも20名以上）と捉えた方が良いでしょうか」については、お見込みのとおりです。</p>
18	業務仕様書	業務内容(3)ア (P2)	<p>学習カリキュラム受講者について、受講者の募集や受講に際して、</p> <p>○セミナーを全てオンライン開催する事は不可</p> <p>○各セミナーは1セミナーあたり最低10名以上の受講者を確保すること</p> <p>上記以外に何か制約等はございますか。</p> <p>※全セミナーの受講者は重複してはならない等や、受講中はオンライン又は会場への出入り自由は禁止等</p>	<p>1人の受講者が複数のセミナーを受講することは可能です。受講中はスクール形式となることを想定しています。受講中の出入り等は授業中に教室を出入りすることは、一般的には許可されていますが、授業の進行や他の受講者に配慮する必要があるものと考えます。</p> <p>また、人材開発支援助成金の賃金助成対象要件では、オンライン開催では同時双方向型の場合が対象となっていますので、開催方法の参考にしてください。</p> <p>（10時間のセミナーのうち、eラーニング2時間＋同時双方向8時間の場合、8時間分が人材開発支援助成金の賃金助成の対象）</p>

19		業務内容(3)ア (P2)	学習カリキュラムと受講時間について、1 セミナーあたり人材開発支援助成金の対象 となる受講時間(OFF-JTを10時間以上)と するとございますが、最低2日以上に分けて 開催する等の制約等はございますか。	1セミナーあたりの日数の制約はございませ んが、受講者が参加しやすい曜日・時間の設定に 努めることとしています。
20	業務仕様書	業務内容(3)オ (P3)	10名×5セミナー×2回開催＝受講生延 べ100名(内20名は複数セミナー参加：仮 に2つのセミナー参加)のような場合、重複 除く受講者数80名×30%以上という実績の カウントの仕方でよろしいでしょうか。	令和6年度のデジタルリスクリテラシー推進事業 では、受講者の30%がセミナー受講後にデジタ ライゼーション、デジタルライゼーション等DX推 進を実践する方となるよう目標を設定していま す。延べ人数計100名の受講者としても、DX 推進した実人数で30名以上を想定しておりま す。
21	業務仕様書	業務内容(3)オ (P3)	DX推進目標の設定について、リスクリン グセミナー受講者の30%以上が事業者にお けるDX推進する受講者となるよう目標を 提案することと有りますが、「事業所におけ るDX推進する受講者」の定義や目安はござ いますか。 また30%以上と設定されている背景等も ご教示いただきたくお願いいたします。 更にDX推進されているかどうか確認す る方法はどの様な方法をお考えですか。	本セミナーを受講した方が「事業所における DX推進する受講者」と想定しています。 本事業はデジタル田園都市国家構想交付金を 活用しているため、KPIとして30%以上とし て設定しているものです。 DX推進の確認方法は、業務内容(5)によ り受講者に対しアンケートを実施すること としており、その中で、例えばセミナー受講後 にデジタイゼーション、デジタルライゼーション 等DX推進を実践した等のアンケート回答によ る確認を想定しています。

22	業務仕様書	業務内容(3)オ (P3)	「事業所におけるDX推進する受講者」を育成のご支援をするため内容にて目標を含めて企画提案予定ですが、「事業所におけるDX推進する受講者」に至ったのか等の実態把握や評価は本事業の範囲内となりますでしょうか。	本セミナーを受講した方が「事業所におけるDX推進する受講者」と想定しています。その実態把握は本業務の範囲としていません。 DX推進の確認方法は、業務内容(5)により受講者に対しアンケートを実施することとしており、その中で、例えばセミナー受講後にデジタイゼーション、デジタルイゼーション等DX推進を実践した等のアンケート回答による確認を想定しています。
23	業務仕様書	業務内容(6) (P3)	リスクリングセミナー受講者へのフォローアップについて、岩手県様が想定されていないケースをご教示いただきたくお願いいたします。	フォローアップによって、受講者もしくは受講者の所属する事業所に対し、別途料金の徴収は想定しておりません。
24	業務仕様書	業務内容(6) (P3)	本業務はリスクリングのきっかけや研修が範囲だと認識しているが、参加企業と受託者が本業務をきっかけに個別に契約することの制限はあるか。	本業務外について岩手県として関与いたしません。県の関与が誤認されないよう配慮してください。
25	企画提案書作成要領	提出する書類(1)イ 盛り込むべき内容	「コンペ参加者における人員体制」と「本業務を履行する体制」の違いをご教授いただけますと幸いです。	前者はコンペに参加する団体や個人のメンバー構成を指します。コンペ参加者(単独または共同提案の場合は構成員全員)の人員構成、役職、専門性、役割分担などを記載してください。 後者は本業務(提案書で述べている具体的な業務内容)を実行するための体制を指します。実

				<p>際の業務遂行に必要な人員や組織の構成を示してください。</p> <p>上記2つが重複する場合は、どちらかにまとめていただいて構いません。</p>														
26	企画提案書作成要領	提出部数	<p>提出部数について、副本の提出は不要でよろしいでしょうか。また、PDFデータは正本のデータを提出するということによろしいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。PDFデータは正本のデータ提出です。</p>														
27	その他	令和5年度の実績	<p>令和5年度実施されていた「デジタルリスティングセミナー」及び「デジタルトライセセミナー」の集客数、実施内容、満足度等をご教授いただくことは可能でしょうか。</p>	<p>「デジタルリスティングセミナー」及び「デジタルトライセセミナー」の集客数は86名で、実施内容については県ホームページに掲載していますので、下記リンク(※)からご確認ください。</p> <p>セミナーの満足度については、次のとおりです。</p> <table> <tr> <td>非常に満足</td> <td>59%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>非常に不満</td> <td>3%</td> </tr> </table> <p>また、受講者の業務に役立つ部分があったかについては、</p> <table> <tr> <td>非常にあった</td> <td>41%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえばあった</td> <td>47%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば足りなかった</td> <td>12%</td> </tr> </table>	非常に満足	59%	やや満足	32%	やや不満	6%	非常に不満	3%	非常にあった	41%	どちらかといえばあった	47%	どちらかといえば足りなかった	12%
非常に満足	59%																	
やや満足	32%																	
やや不満	6%																	
非常に不満	3%																	
非常にあった	41%																	
どちらかといえばあった	47%																	
どちらかといえば足りなかった	12%																	

				まったくなかった でした。 0%
28	その他	令和5年度の実績	令和5年度に実施された同様の事業において、良かった点、課題と捉えられている点などがありましたら、教えていただけますでしょうか。	<p>良い点としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ノーコードでアプリケーション開発を行うハンズオンがあったこと ② SNS を通じてコミュニティーが形成され、受講者同士でリスキリングについて意見交換できたこと <p>良くない点としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 一部に土曜開催を設定したが、受講者からは平日開催の意見があったこと ② 最長1日8時間受講は長いという意見があったこと <p>があげられます。</p> <p>今後さらに受講したいテーマでは、RPAに関するものが多くありました。</p> <p>また、休暇を取得して参加した受講者がいたため、所属事業所の経営者層がリスキリングの重要性を理解する必要があるものと考えています。</p>

※リンク「デジタルリスキリングセミナーのご案内」

<https://www.pref.iwate.jp/sangyoukoyou/koyouroudou/nouryokukaihatsu/1065707.html>